

2018年度「運輸安全マネジメント」に基づく公表について



2019年3月30日安全統括管理者
喜多正美 専務取締役が責任者となり
2018年度の「運輸安全マネジメント」
に基づく内部監査を実施した結果は、
次の通りです。

記

対象項目

<1> 輸送の安全に関する基本的な方針

1. 全社員には日々の「点呼」「朝礼」「幹部会」「教育」「表彰式」等、あらゆる機会をとらえ、「運輸安全マネジメント」の導入と実施義務について啓発した。
2. 社内掲示並びに弊社ホームページに掲載している。
上記の状況から「輸送の安全に関する基本的な方針」は周知徹底していたと評価する。

<2> 輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況

1. 車内事故防止・・・軽微であったもののゼロではなかったため、次年度はゼロ目標として取り組む。
2. 乗降時の安全再確認・・・不十分であるケースが見受けられる。
3. 安全三原則の遵守・・・幸い、安全三原則を逸脱する事故等はなかった。
4. 乗務員教育・・・ビデオ視聴教育19回、外部から講師を招き交通安全教育を6回実施した。
5. 毎月スケジュールを組み、幹部社員による街頭指導、添乗指導、路線パトロール等運転士の指導を実施した。
6. 健康診断・・・9月、3月に実施した。
以上の通りであった。

<3> 自動車事故報告規則第2条の事故に関する統計

2019年1月11日、横断歩道上で歩行者と接触し、負傷させるという事故が発生した。

2019年4月1日

帝産湖南交通株式会社

専務取締役

安全統括管理者 喜多 正美